Udai教育セミナー授業実践報告

コンセプトマップの活用

機械知能工学専攻 吉田勝俊

本文書のURL:

http://edu.katzlab.jp/misc/UdaiES2015.pdf

(20min)

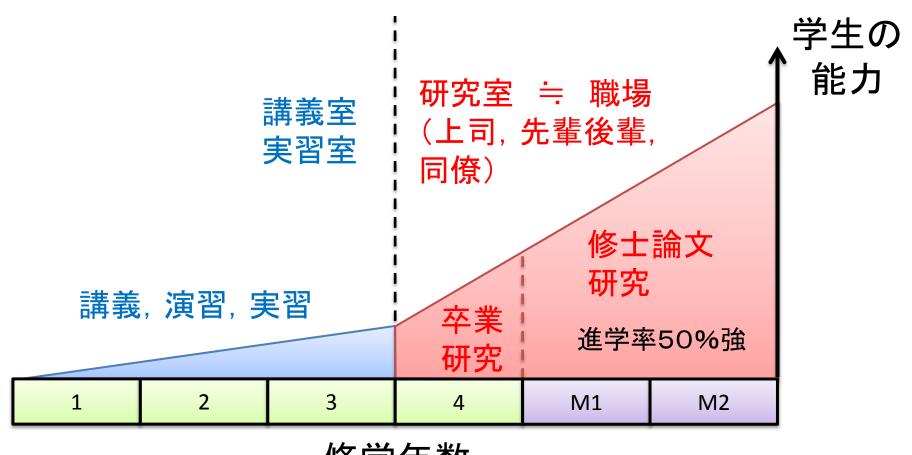
目次

- 1. 研究室教育とその目標?
 - 指導教員たちの夢
- 2. 研究内容の図式化
 - ツリー型, マトリックス型, コンセプトマップ型
- 3. 「次の一手」の探し方
 - 指導教員の出し抜き方!
- 4. まとめ

1. 研究室教育とその目標?

工学部の教育

= コースワーク + 研究室教育(OJT)



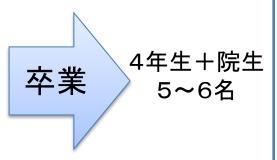
修学年数

研究室と教育

- 研究室の使命 • 研究成果を生み出す!
- ・戦力は学生 →戦力となる人材育成=教育







研究成果

サボると後で地獄をみる

戦力は卒業してしまう(泣) →

持続的な人材育成が不可欠

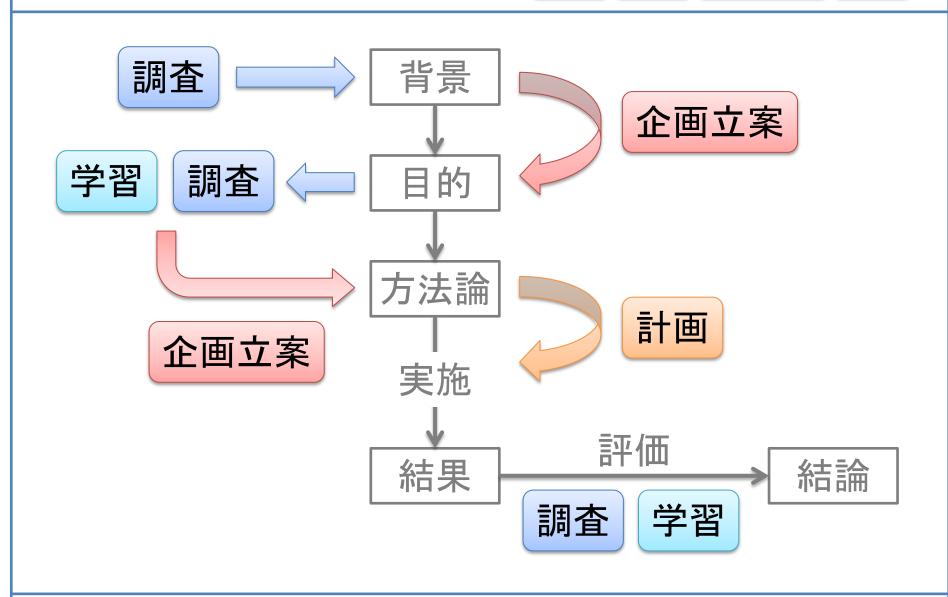
研究に必要なスキル

調査

学習

企画立案

計画



各スキルの難易度

易しい

難しい

調査

学習

計画

企画立案

教えなくてもできる ※情報源は助言 1回経験させればできる

普通の学生には 無理なのか?

↑ ちがう!

- ・ 企画立案のきつかけ(私的経験則)
 - ロジックの「内挿」または「外挿」
- 障害となる要因(私的仮説)
 - 「箇条書き」的思考

2009年に導入後, 学生による企画立案が ちらほら出現!

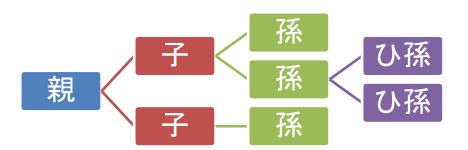
→ コンセプトマップで解消

ツリー型 マトリックス型 コンセプトマップ型

2. 研究内容の図式化

●図式化1 ツリー型

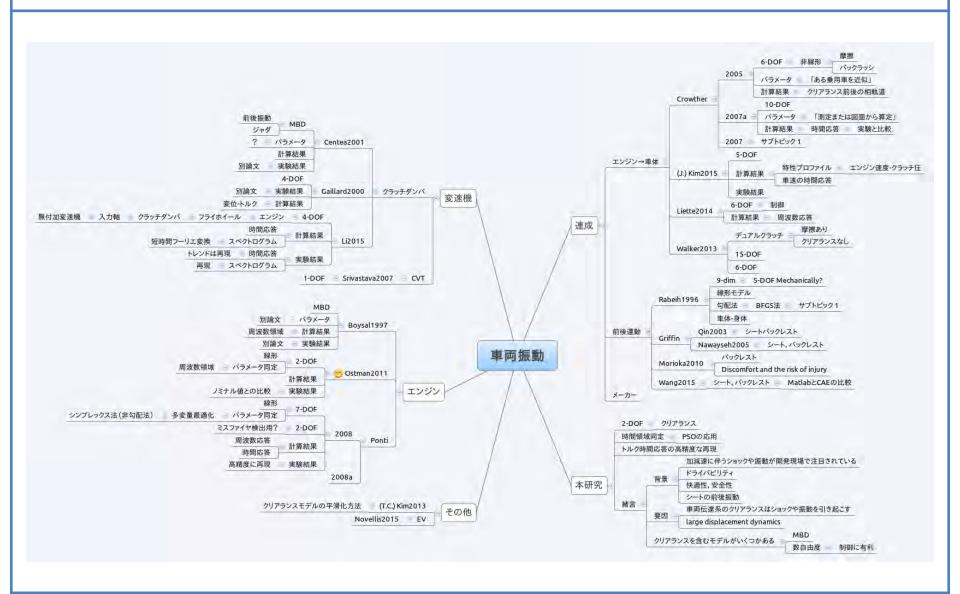
- ・ 用途と特徴
 - − 概念の階層化≒ グルーピング
 - 発散型



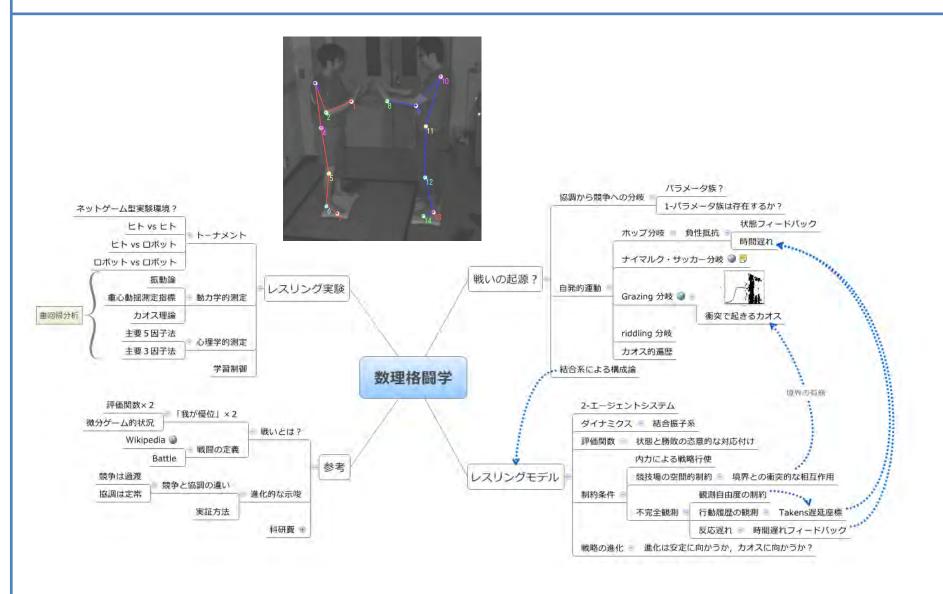
- 具体例
 - 箇条書き(目次)
 - マインドマップ ※ソフト有
- 活用例
 - 文献調査(階層化)
 - アイデア出し(発散思考)



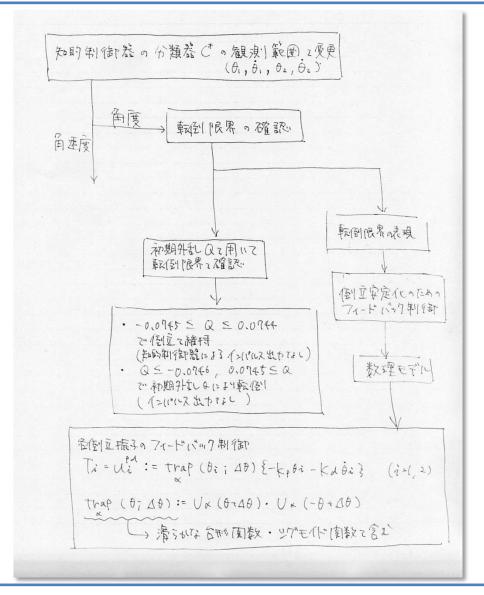
マインドマップの例(文献調査)



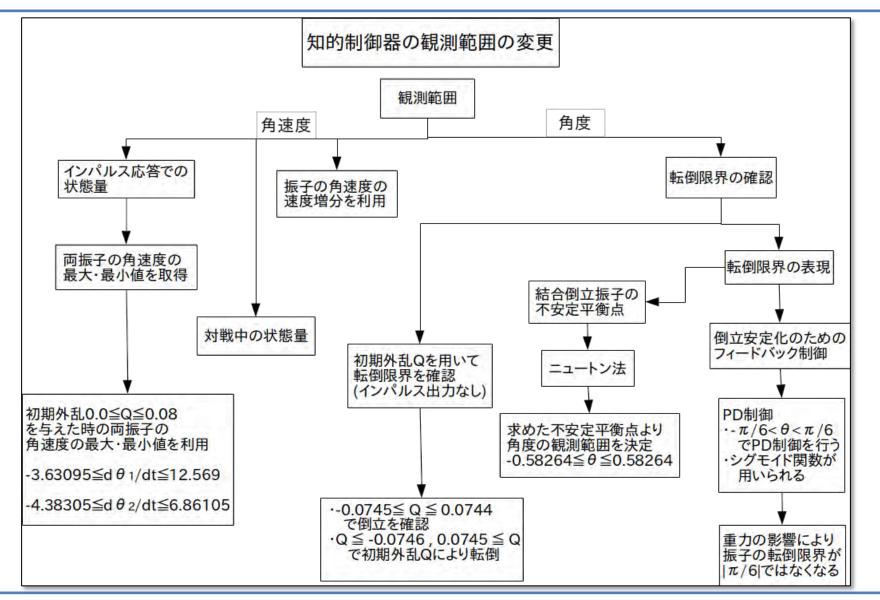
マインドマップの例(アイデア出し)



マインドマップの例 (アイデア出し by 学生) 1/2

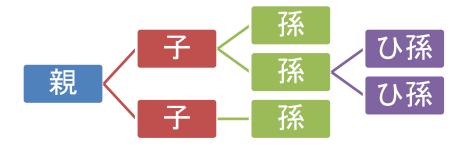


マインドマップの例 (アイデア出し by 学生) 2/2



ツリー型の欠点

- ・分岐のみの構造 →合流やループが表せない
 - 議論は自ずと発散する. (アイデア出しにはよい)
 - 依存関係や対比などが表現困難



- 無理に使うと「ただし書き」が増える! ※履修案内
- 例題: 次の内容を箇条書きで表わせ
 - 近年, 少年犯罪が増加しており, その少年らは全て ゲームの愛好者であった.

解答例

- ・ 少年犯罪が増加している.
- ・ 捕まった少年は全員ゲーム愛好者だった.

• 例題: 対策を企画立案せよ

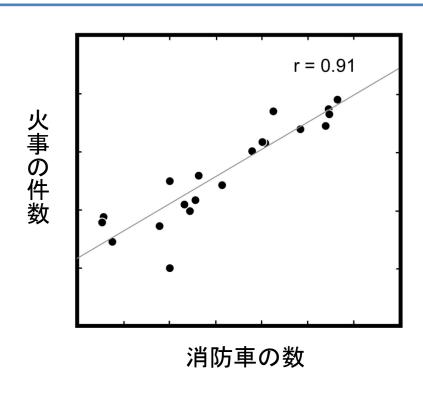
- ありがちな対策案 • ・ ゲームを禁止せよ!
 - 「ゲーム脳」という本まで出ちゃった(笑)
 - ※後世に語り継ぐべき、悪例の1つ!

●図式化2 マトリックス型

構成比(架空)	ゲームする	しない	
犯罪を犯す	観測	禁止!	0.1%
犯さない		対策?	99.9%
	99%	1%	

- 長所・・・ 未検討の条件に気付ける
- ・欠点・・・因果関係が明示されない
 - 「相関」と「因果」の錯誤が起こりがち

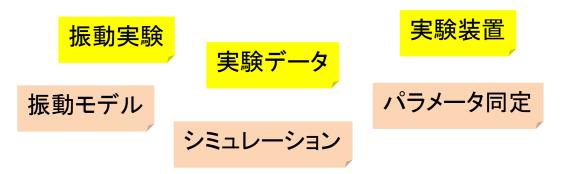
【補足】相関 ≠ 因果 ※データはダミー



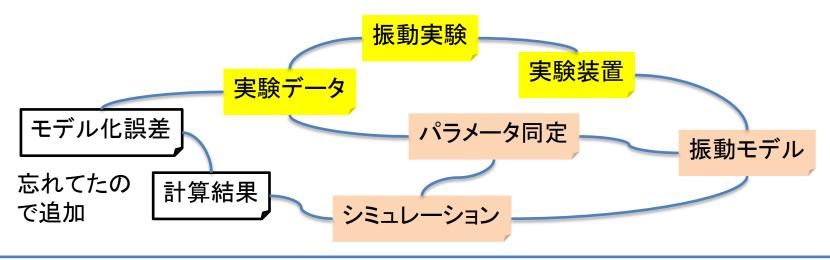
- ・ 消防車の配備数は、火事の件数と正の相関
 - 因果を取り違えると?
 - 誤「火事を減らすには、消防車を減らせばよい!」

●図式化3 コンセプトマップ 1/2

STEP 1: 登場人物を書き出す(付箋紙など)

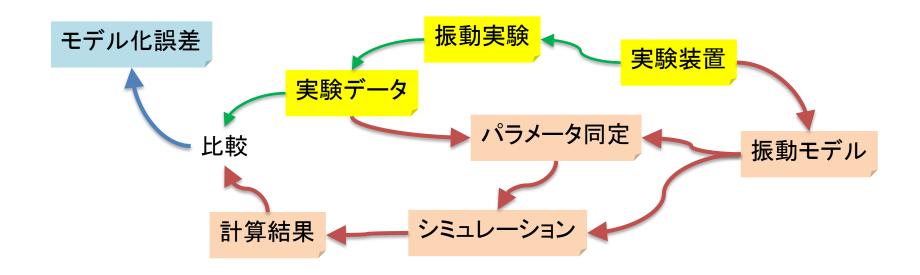


STEP 2: 関係するものを繋ぐ + (配置の調整)



●図式化3 コンセプトマップ 2/2

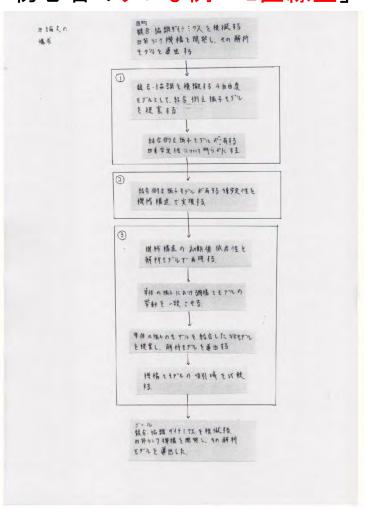
STEP 3: 因果関係の矢印を追加 +(道案内)



- ・ 単純なツリー構造(発散型)では表せない.
- 分岐や合流が生じる.(ときにはループも?)

コンセプトマップの例 (導入当初)

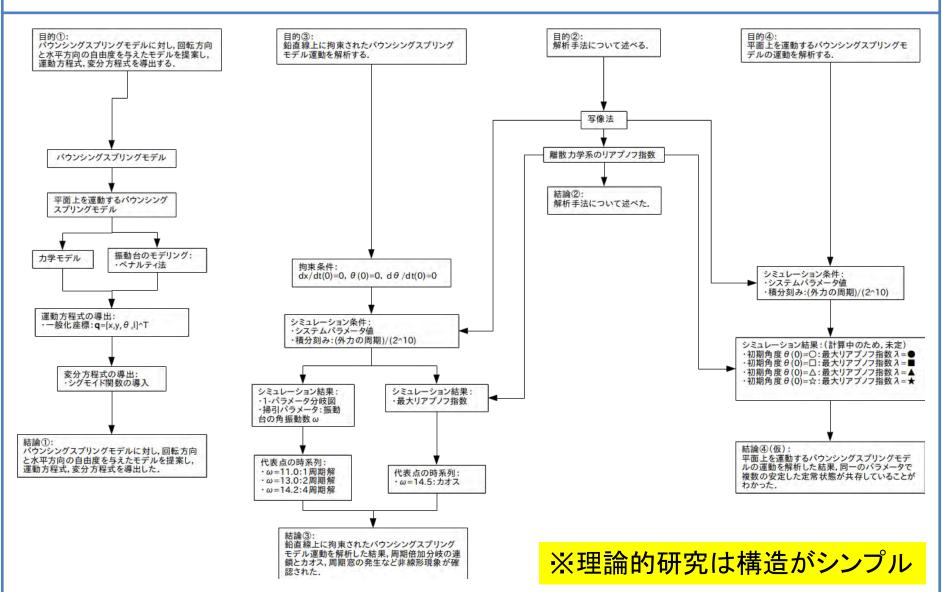
初心者のダメな例「1直線型」



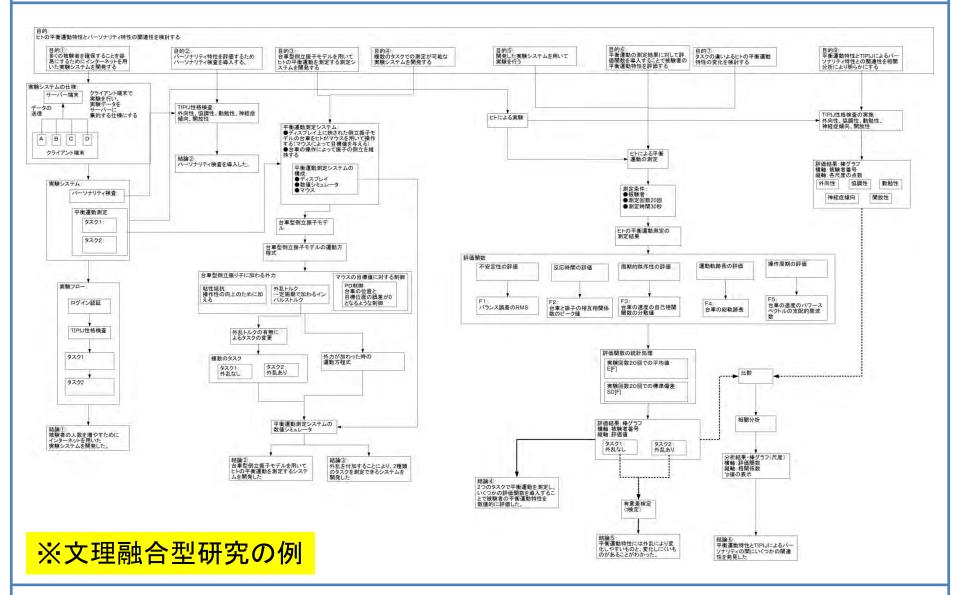
習熟後(同じ学生)



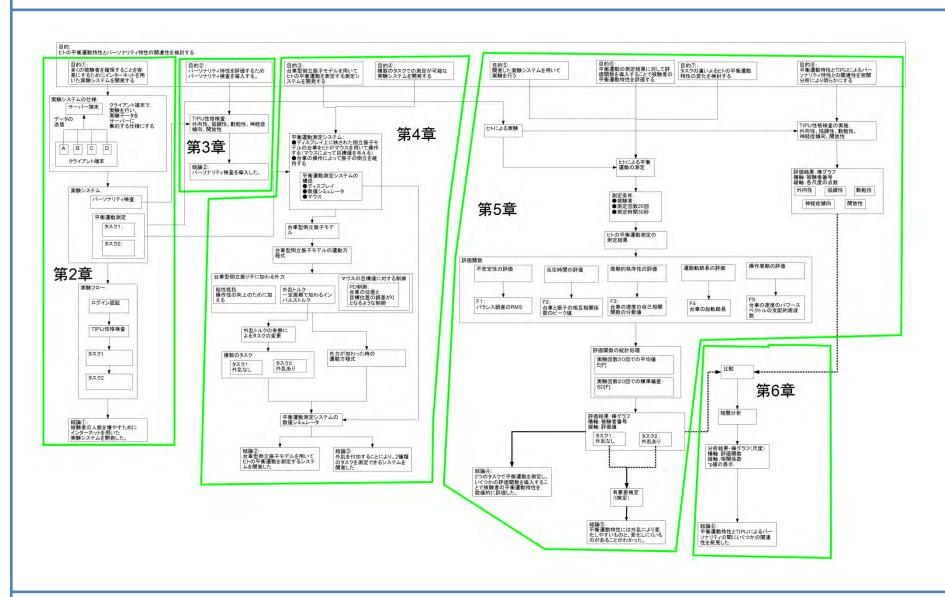
コンセプトマップの例 (最近の学生1)



コンセプトマップの例 (最近の学生2)



論文執筆へ(枠を描けば章立て完成)

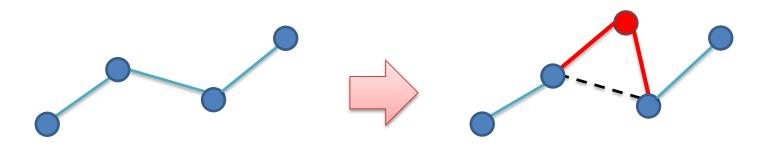


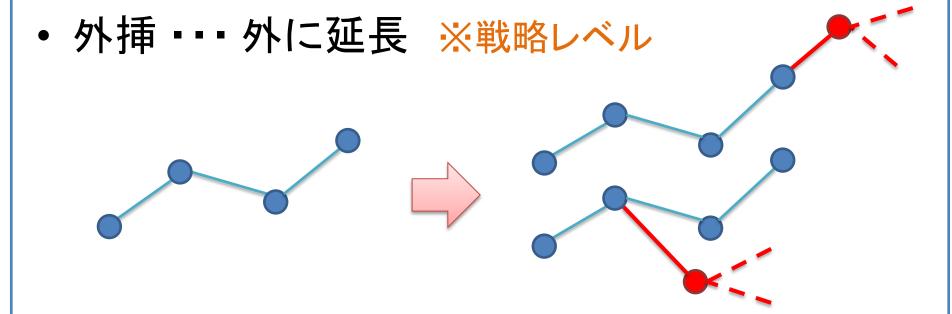
教員を出し抜く方法! 研究計画の「内挿」および「外挿」

3. 「次の一手」の探し方

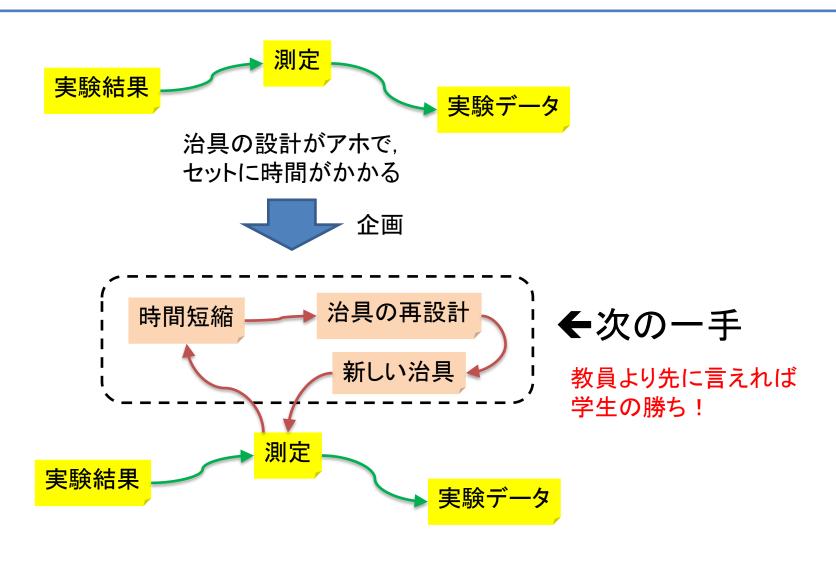
内挿と外挿

内挿・・・中継点を増設 ※戦術レベル

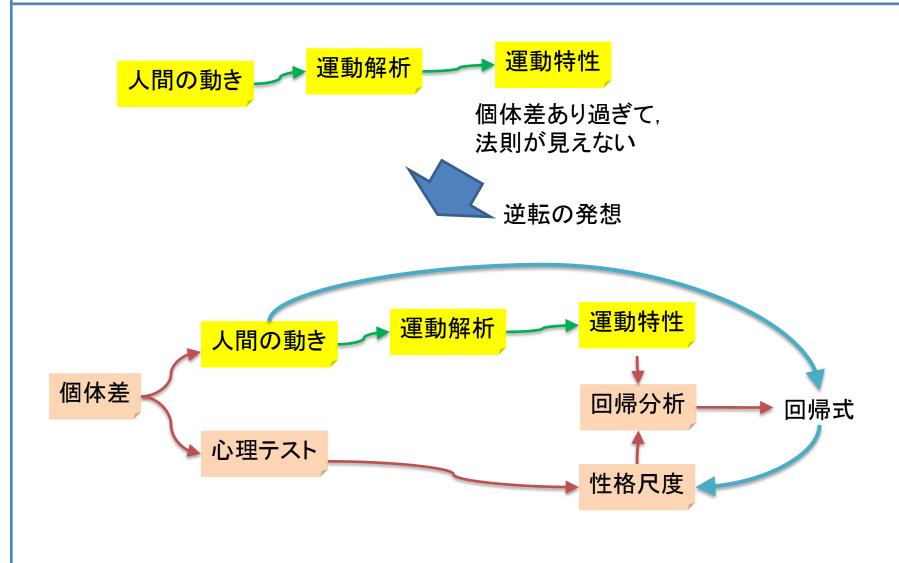




「次の一手」の例(内挿型)



「次の一手」の例 (外挿型)



まとめ

- 研究室教育の目標
 - 「次の一手」を自分で見つける学生の養成?
- ・ 研究内容の図式化
 - ツリー型

→アイデア出し、階層化

- マトリックス型

- →条件の整理
- コンセプトマップ型 →上記+矢印の合流・分岐
- ・「次の一手」の探し方
 - コンセプトマップの外挿 and/or 内挿